

一般社団法人 郡山医師会 郡山市医療介護病院広報誌

第35号 発行 令和4年10月

郡山市字上亀田1番地の1 TEL 024-934-1240 郡山市医療介護病院 広報委員会 発行

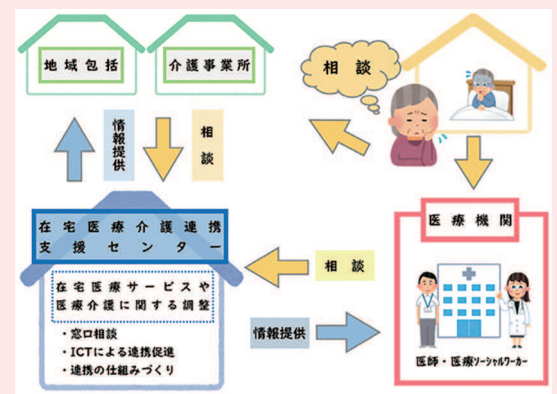
ビッグハート BigHeart

基本理念

生命の尊重と個人の尊厳を旨とし
和をもって市民に信頼される
保健・医療・福祉サービスを提供します。

わたしたちの病院の魅力 詳しくは4面へ

郡山市在宅医療・介護連携支援センター



在宅で医療と介護両方の支援を必要とする人たちが、住み慣れた地域で最期まで自分らしい暮らしを続けることができるよう、サービスが一体的に提供できる地域を目指し、医療機関と介護事業所の専門職等の一層の連携を推進することを目的として、郡山医師会が、郡山市の委託を受け設置運営しています。

当院のいいところ(職員より)

当院の売店前の廊下には、「病院のいいところ」と題し、各職種の職員が当院の強みを書き出し掲示しています。福利厚生が充実している意見が多く、子育て世代にはとてもやさしい病院であることを再認識しました。また看護師や介護福祉士ではユマニチュードの取組みの効果を感じることや、職員間のコミュニケーションの良さなどの意見もありました。ぜひ、ご来院の際にはご覧ください。そして、このような素晴らしい職場環境と一緒に働く看護師や介護福祉士等の職員を募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。

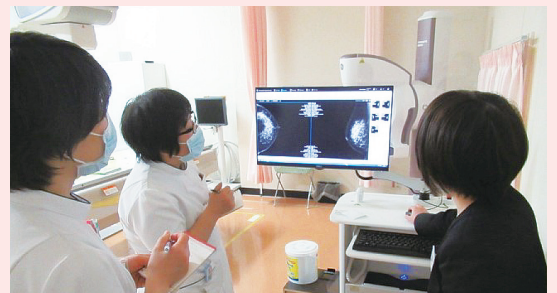
ビッグハート BigHeart

第35号

一般社団法人 郡山医師会 郡山市医療介護病院広報誌

〒963-8031 郡山市字上亀田1番地の1 TEL 024-934-1240(代表) FAX 024-934-1070 ホームページ: <http://bigheart-hp.net>

乳がん検診はじめました



当院では、令和四年度郡山市施設健診開始に併せ乳がん検診を始めた。乳がんは、わが国の女性のガンの中で罹患する人が多く、死亡原因の上位に位置するが、多くは、マンモグラフィ検査で発見され、乳房を片方ずつプラスチックの板で挟んで撮影することで、小さいこりや石灰化を見つける検査です。放射線被ばくによる健康被害はほとんどありません。当院では、安心して検査をして頂くために、女性の技師が対応します。月・火・水・金曜日に検査ができます。約十五分の検査ですので、是非とも受診をおすすめします。



オレンジカフェ・ビッグハート

富田西公民館 偶数月第4木曜日 午後1時30~ 午後2時30まで	小山田公民館 奇数月第3火曜日 午後1時30~ 午後2時30まで
--	--

10月27日(木) 12月22日(木)
 ※R5年2月16日(木)
 ※印は祝日により開催日が変更になります

9月20日(火) 11月15日(火)
 R5年1月17日(火)
 ※3月14日(火)

新型コロナウイルス感染症の拡大のため見合わせていましたオレンジカフェは、昨年度より地域の公民館をお借りして開催しております。

★全日程必ず事前申し込みが必要になります★
 お申込みは富田高齢者あんしんセンターまで
 ☎ 024-935-0522 (直通)



巻頭言



院長 原 寿夫

ナイチンゲールは世界的に有名な近代看護教育の生みの親であり、統計学者としても著名な方で、日本の江戸末期にあったクリミア戦争(クリミア半島を舞台に、フランス・オスマン帝国・イギリスの同盟軍とロシアの戦い)に看護師とシスター計三十八名を率いて従軍し、兵舎病院の衛生環境を改善して死亡率を下げ、その経過を統計学的に見える化して本国に報告したことでも知られています。

日本でも、明治期に会津の新島八重が看護師として日清戦争に従軍し、同志社女学校の設立に尽力されました。明治維新から百五十四年、もともとと優しさを伝えたいものです。

当院は医療と介護をつなぐために、患者さん、利用者さん、一人ひとりの生活に寄り添うケアを考えています。治療は、血液検査等数字で評価できることが多くあります。しかし、日常生活に寄り添うケアを評価することは容易ではありません。それは、評価に必要な物差しを持っていないからです。ケアを行うにあたって、これとこれを、こんな風に行うことが大切であるという、物差しを持つ

ことがケアの見える化のスタートラインに立つことだと思えます。この「物差し」こそ、次ページに紹介させて頂く「ユマニチュード®」であると、私たちは考えています。その考え方の基本には哲学があり、そこから生まれた技術、特に基本となる「見る」「話す」「触れる」の三つについて、結果として実行されたかどうかの判断基準が明確にあり、情報技術によって、まさに「見える化」して頂いたのです。静岡大学情報学部の方の先生方のご指導によって、当院職員一人ひとりがユマニチュード®の場面を録画し、評価のための専用ソフトを使って自分のケアの状況をインスタクターと共に自己評価し、自ら改善していく、これを繰り返すのです。

ユマニチュード®と出会って八年、ケアの見える化に取り組んで六年。NHK厚生文化事業団のDVD作成に協力させて頂いて四年。そして、一昨年から二年半は新型コロナウイルス感染症への感染対策に追われ、マスクの着用や密を避けること等から、人と人とのコミュニケーションに影響を落としていくように思われます。しかし、この経験によってこれまで以上に優しさを伝え合うことの大切さを強く実感させられました。

九月二十五日に京都市で行われた「日本ユマニチュード学会第四回学会総会」の学会総会シンポジウム「ケアの見える化に取り組んだ郡山市医療介護病院の歩み」で報告させて頂きました。

これからも、みなさんのご指導、ご協力のほど宜しくお願い致します。

編集後記

先日オレンジカフェの取材へ行ってきました。コロナ前とは異なった運営方法での実施でも参加された方からは「話ができよかった」「楽しかった」との声が聞けました。さまざまな不安や戸惑いの中でも気軽に話せる場はやはり大切なのだと感じたオレンジカフェでした。

事務(五)

お知らせ

新型コロナウイルス感染症により二年間開催を見合わせてきましたが、令和四年度の開院記念市民公開講座については、十一月五日に会田薫子先生を講師に「人生の最終段階における医療を考える」をテーマに開催をいたします。詳細はホームページをご覧ください。みなさまのご参加をお待ちしております。

外来当番表

診療科目	月	火	水	木	金
内科	太田一寿	原 寿夫	太田一寿	原 寿夫	太田一寿
整形外科	高橋 功	高橋 功	高橋 功	張簡俊義	高橋 功
皮膚科	休 診	折笠玲子	折笠玲子	休 診	折笠玲子

◆診療時間 月~金/午前9時~正午まで ◆休診日 土曜日・日曜日、祝祭日、年末年始

郡山ビッグハート

【交通のご案内】

- 福島交通バス：郡山駅発第9・10番ポールより乗車下さい。希望ヶ丘、新池下団地行郡山ビッグハート下車
- 郡山駅より車で十分
- 東北自動車道郡山インターより車で八分

「郡山ビッグハート」は郡山市医療介護病院と郡山市休日・夜間急病センターの複合施設の変称です。市民の皆様の健やかで心豊かな生活を支援する施設です。

特集II 「地域とのつながり」

令和3年度 病院と地域をよりよくなる活動

教育研修委員会では職員が地域に目を向ける機会をつくるため「病院と地域をよりよくなる活動」として活動を継続しています。

たまのやこころ斎苑の渡辺様をお招きし、「終活」や人生のエンディングについての講演会を開催



～終活～
これからの人生 自分らしい人生

正しい手洗いをしよう!



モミの木クリニックの遠藤先生をお招きし、ACP(人生会議)についての講演会を開催



癒しの星空展



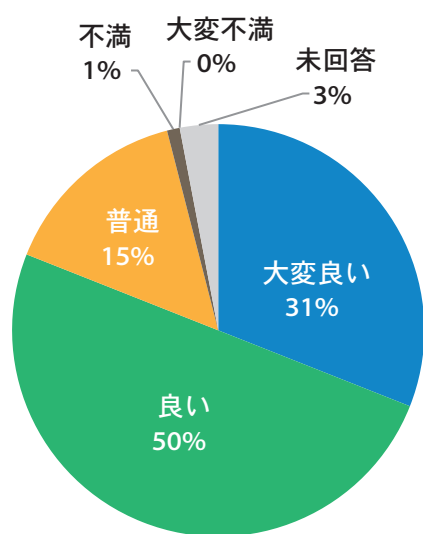
定期的な地域のゴミ拾い



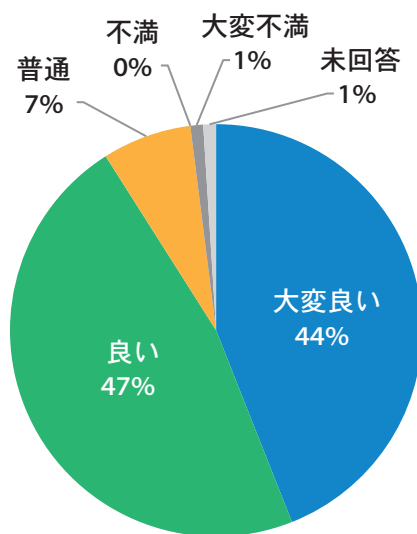
体組成計で自分の体を知ろう!



働く世代に知ってほしい ACP 人生会議!



【スタッフから】
環境面での改善は、可能な限り対応させて頂きたいと考えております。職員一同質の高いサービスを目指し取り組んでいきたいと思っております。



【スタッフから】
コロナ禍でテレビ面会のみでの対応とさせて頂き、ご心配のことと思います。今後の面会方法につきましては、病院として慎重に検討していきたいと思っております。

病棟・介護医療院

皆様から頂きましたご意見を今後の病院運営に生かしてまいります。他部門の詳細な結果につきましては、病院のホームページに掲載いたしますのでご覧ください。

サービス向上アンケート

〜ご協力ありがとうございました〜



特集I 「ユマニチュード®」

やさしさを伝えるケア技術

ユマニチュードは、フランスの二人の体育学の専門家が開発したケアの技法です。「人間とは何か」「ケアする人とは何か」という哲学に基づいて生まれました。ユマニチュードは「人間らしくある」「人間らしさを取り戻す」という意味を持つフランス語の造語です。当院では平成26年より日本で初めて病院全体でユマニチュード導入への取り組みを始めました。ユマニチュードの技法はケアが必要なあらゆる方が対象になりますが、特に認知症の方や高齢者のケアで有効であると考えられる技法です。

【見る】

水平に目を合わせて、正面から顔を近づけて見つめる時間を長くとるようにします。目を合わせることで「あなたが大切です」という想いが伝わります。



(正面から瞳をとらえる)

【話す】

話しかけることは「あなたは大切な人です」と伝える大事なメッセージです。優しく愛情あることばを用いて、歌うように、声のトーンは低く穏やかに話しかけます。



(返事がなくても言葉をあふれさせる)

見る 話す

触れる 立つ



(掴まず手のひらで触れる)



(できるだけ立つ時間を増やす)

【触れる】

相手の腕をつかむ行為は相手の自由を奪っていることを意味してしまうため、下からそっと支え、ゆっくりと広い面積で包み込むように触れることが大切です。

【立つ】

立つことは筋力の低下を防いだり、血液循環を良くしたり体にさまざまなメリットがあります。自分の足で立つことでその人に「人間らしさ」や自信を取り戻すきっかけになります。

～イヴ・ジネスト先生来院～

本人の力を引き出す～個別支援～



コロナ禍により2年ぶりにユマニチュード®創始者のひとりであるイヴ・ジネスト先生が本田美和子先生(東京医療センター)と来院しました。これまでの時間がうそのようであった間に患者様や利用者様に解け込みました。落ち着かない認知症の方のケアについてご助言を頂きながら、ベッドから車いすへ移乗し、居室から窓辺まで移動しました。そして、介助により立位を保持され外を眺めたり、ご自身で車椅子を操作したり、歯磨きをしたりと、ご本人の力を引き出すためのヒントをいただきました。